

大阪三大夏
祭りのひとつ

「愛染まつり」の御一行が、 愛染娘の方々と府庁を訪問されました。

(平成22年6月18日(金))

大阪ミュージアムの登録物である「愛染まつり」は、聖徳太子が開いた日本最古の夏祭りとして知られています。愛敬・人気・縁結びの神、愛染



「愛染さんじゃ～！ホ・エ・カッ・ゴ～！」のかけ声が府庁の玄関に響き渡ります。

さん（^{しょうまんいん}勝鬘院）のお祭りで、大阪の夏祭りは、愛染まつりに始まり、天神祭を経て、住吉大社祭りで終わると言われています。

正式名称は勝鬘院ですが、金堂に愛染明王が奉安されていることから、勝鬘院全体が通称「愛染堂」と呼ばれています。

「愛染まつり」は「浴衣祭」としても知られており、浴衣姿の愛染娘と愛染女組が20数名も来庁され、

重厚な府庁の玄関が華やかな雰囲気になりました。

紅白の布と愛染かつらの花などで飾った宝恵駕籠（ほえかご）に、浴衣姿の愛染娘たちを乗せて、「愛染さんじゃ～！ホ・エ・カッ・ゴ～！」のかけ声とともに谷町筋を練り歩くパレードが人気です。

「愛染まつり」は6月30日(水)から7月2日(金)に開催されます。ぜひ皆様、浴衣でお出かけください。

(最寄駅：地下鉄谷町線「四天王寺前夕陽ヶ丘」駅から徒歩2～3分)

